

●行動期間●
2024年
5月30日～6月5日
11月1日～7日

いっしょにやろうよ、
できること！

テレビ・ゲーム・パソコンを消して 読書する共同行動2024

呼びかけ:岩手県幼小中高大専ESD円卓会議

- 岩手県国公立幼稚園・こども園協議会
- (一社)岩手県私立幼稚園・認定こども園連合会
- 岩手県小学校長会
- 岩手県中学校長会
- 岩手県高等学校長協会
- (一社)岩手県私学協会
- いわて高等教育コンソーシアム
- (一社)岩手県専修学校各種学校連合会

趣 旨

温暖化防止の啓発と教育の連携を目指して、岩手県の幼稚園・こども園から小・中・高等学校、大学、専門学校が「環境ウィーク」を設定してともに取り組む共同行動です。クラスや園・学校を単位にみんなでいっしょに取り組み、その成果をCO₂削減量として総計して社会に公表し、環境への意識を啓発します。CO₂削減の共同行動を第一として、できるだけ読書につなげることを目指します。

PTA・保護者のみなさんにも理解と協力を呼びかけるとともに、市民や行政、諸団体にも協力を呼びかけます。

2024年の実施要領

- (1) 共同行動の「登録」は、園・学校単位を原則として、参加した「人数」と「時間」を、春と秋の入力期間に代表者がホームページに登録してください（または裏面のFAX用登録カードをご利用ください）。
- (2) 「人数」は、行動した園児・児童・生徒・学生の実数とします。1人が期間中に2回、3回と取り組んでも「人数」は1人とします。
- (3) 「時間」は、「普段であればつけているテレビ・ゲーム・パソコンを消した時間」とします。この時間をできるだけ読書推進の取組とリンクします（読書以外の行動でもかまいません）。期間中に取り組んだ時間を園・学校単位で合計します。
- (4) 「期間」は、春は2024年5月30日(木)～6月5日(水)、秋は2024年11月1日(金)～11月7日(木)を、「環境ウィーク」として取り組みます。各園校で独自に期間を定めて取り組んでもかまいません。
- (5) 読書は分野を問いませんが「環境に関する参考図書リスト」をホームページ(<http://esd.iwate-u.ac.jp/entaku/book.html>)に掲載していますので、活用してください。

2024年の目標

300園校の園児・児童・生徒・学生5万人による
CO₂削減10トン(立木約150本相当)

(注:5万人×5時間×0.04kgで計算)

岩手県幼小中高大専ESD円卓会議事務局:岩手大学学務部

TEL:019-621-6092 FAX:019-621-6065

ホームページ <http://esd.iwate-u.ac.jp/entaku/index.php>

共同行動2024岩手

検索



共同行動登録カード

送信先：019-621-6065 岩手県幼少中高大専ESD円卓会議事務局 行



岩手県
幼少中高大専
ESD円卓会議

いっしょにやろうよ、できること！

期間：春／5月30日(木)～6月5日(水) 秋：11月1日(金)～11月7日(木)

— テレビ・ゲーム・パソコンを消して読書する共同行動2024 —

学校名 / 園名	
参加人数	
参加総時間(時間)	() 時間 () 分
参考(コメント)	

寄せられたコメント

- ◆絵本を読む機会になり、子供と一緒に共感したり絵本の世界に浸ったりする時間を楽しみました。(幼稚園保護者)
- ◆普段、家庭でテレビ・ゲーム等が多くなってしまいうご家庭がほとんどでしたが、今回の活動を通して親子で絵本を読む時間が増え、子どもたちも沢山の絵本に出会える良い機会となりました。(幼稚園)
- ◆高校生になりあまり本を読む機会が少なくなっていたけど今回本を読む機会を増やすことで、本の面白さに改めて気づけたし、自分のためにもなったので良かった。(高校生)
- ◆SNSから離れて過ごす時間が増えた。新しい本にも出会えたのでよかった。(高校生)
- ◆全校に呼びかけることで読書に親しむきっかけになったように感じます。今後とも読書推進活動を進めていきたいです。(高校)
- ◆普段暇さえあればスマホを触ってしまう生活が続いてしまっているのが今の生活を見直す良いきっかけになった。(大学生)

「共同行動2023」の結果

	園・校数	参加人数	時間	CO ₂ 削減
幼稚園 こども園	7	328	1531	60.4
小学校	0	0	0	0.0
中学校	0	0	0	0.0
高等学校	3	1099	598	23.6
大学	1	89	778	31.1
支援学校	0	0	0	0.0
合計	11	1516	2907	115.1

- ◆普段から読書をする方ですが、今回はSNSの利用時間を減らして普段読むことのない類いの本を読みました。ずっと読みたかった本も読めましたし、いくらか教養となる知識をつけることができました。(大学生)
- ◆ゆっくりとした生活を送ることで精神的に余裕ができ、生活がより豊かなものになったと感じた。(大学生)